

令和6年度第12回 感染症発生動向調査協議会 議事概要

1 日 時 令和7年3月19日（水） 14：00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 入札室（岐阜市柳戸1-1）

3 出席者

委 員：馬場 尚志（岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター センター長）

大西 秀典（岐阜大学大学院医学系研究科 小児科学 教授）

加藤 達雄（国立病院機構長良医療センター 院長）

大野 元 （岐阜県産婦人科医会 理事）

オブザーバー：市原 拓 （岐阜市保健所 感染症・医務薬務課 感染症1係長）

事務局：丹羽 員代（感染症対策推進課 管理監）

酢谷 奈津（感染症対策推進課 感染症対策第二係長）

高柳 瑳余（感染症対策推進課 主任技師）

伊地田 妙香（感染症対策推進課 技師）

野池 真奈美（保健環境研究所 主任専門研究員）

岡 隆史（保健環境研究所 主任専門研究員）

4 議 題 （進行：大西委員）

（1）前月の感染症発生動向について

（2）検討すべき課題について

（3）情報提供（月番委員専門分野から）

（4）その他（感染症対策推進課から）

5 議事概要

【前月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの説明は資料のとおり。
- ・月番委員のコメントについては資料のとおり。

【検討すべき課題について】

○百日咳の10歳代、学童期での増加について

- ・（事務局から）百日咳の患者報告が増加しており、「ぎふ感染症かわら版」の発行を予定しています。
- ・（委員から）同感染症の検査法には、抗体検査と遺伝子検査がありますが、地域によって検査法に偏りがあるかもしれないので、データの取扱いには注意が必要かもしれません。

○結核の発生動向について

- ・（事務局から）岐阜県の結核患者は、日本国生まれの高齢者層と外国生まれの若年層が多い2峰性が明確にみられます。
- ・（委員から）受診の啓発や注意喚起などを行う場合は、どのような内容を、どのような相手に発信するのかを明確にすることが重要だと思います。